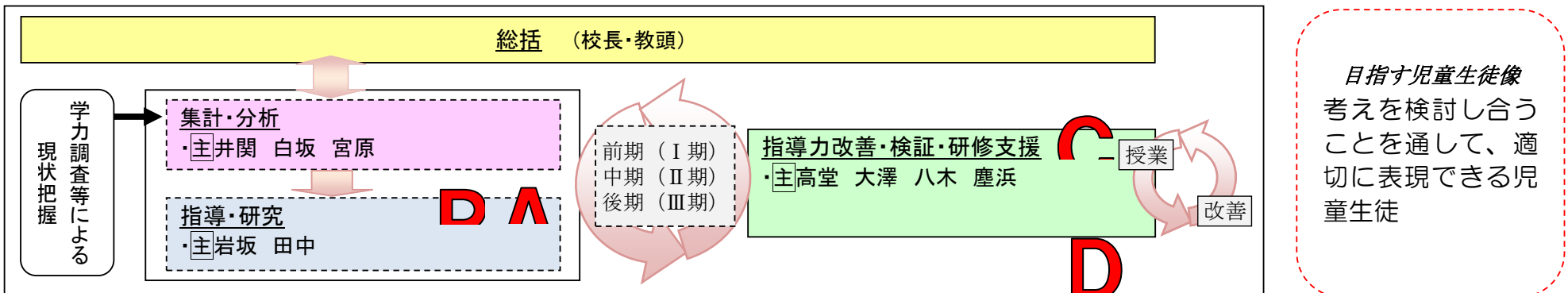


4. 令和5年度 大谷小中学校 学力向上ロードマップ

研究主題 **考えを検討し合うこと**を通して、**適切に**表現できる力の育成を目指して
(ガチャガチャわいわい) **(すとーん)**



前年度後期(Ⅲ期)プランの検証⇒分析

月	行事等	①総括 校長・教頭	②集計・分析 井関・白坂・宮原	③指導・研究 岩坂・田中	④指導力改善・検証・研修支援 高堂 大澤 八木 塵浜
4	県基礎学力調査実施 国学力調査実施	年間のゴールの姿 一往復半で、学力の定着を目指してほしい。 そして、書いた考えを検討し合い、過不足なく・適切に表現できる児童生徒を育ててほしい。	考え・根拠・理由の三角ロジックで書くことが定着し、発表し合う授業が増えた。しかし、解答が曖昧なままで、過不足ないか・適切かを検討し合うことが足りない。 研究授業評価 41.7% チャレンジテスト 52.3%	研究推進委員会 ・年間のゴールの姿の設定 校内研修会 ・研究の方向性の共通理解 ・具体的取組の確認 ・大谷授業スタイルの確認 ・ガチャガチャわいわい、すとーんの姿を明確にする。	
5	学力向上推進研修			校内研修会 ・指導案の形式確認 ・学力調査の分析	児童生徒の発話量を多くする。 不足や間違いを価値づける。 宮原教諭研究授業(11日) チャレンジテスト 児童生徒アンケート 教員アンケート
6	計画訪問 A			校内研修会 ・取組の確認	児童生徒の発話量を多くする。 不足や間違いを価値づける。 高堂教諭研究授業(A 訪問) チャレンジテスト 児童生徒アンケート 教員アンケート
7			採点集計・分析 ・自校誤答分析との比較(7/30) ・経年比較(8/4) ・クロス集計等(8/10) 課題発見・原因究明	校内研修会 ・Ⅰ期の振り返り	児童生徒の発話量を多くする。 不足や間違いを価値づける。 井関教諭研究授業(4日) チャレンジテスト 児童生徒アンケート 教員アンケート
8		年間のゴールの姿 目指す姿 到達目標 付けたい力		研究推進委員会 ・年間のゴールの姿、取組の見直し ・Ⅱ期プランの提案、共通理解	
9				校内研修会 ・取組の確認	授業の具体的取組 ・基盤の具体的取組 白坂教諭研究授業(6日) チャレンジテスト 児童生徒アンケート 教員アンケート
10	学力向上フォーラム 計画訪問 B			校内研修会 ・取組の確認	授業の具体的取組 ・基盤の具体的取組 ・田中教諭研究授業(B 訪問) チャレンジテスト 児童生徒アンケート 教員アンケート
11			採点集計・分析 ・自校誤答分析(12/26) ・経年比較(12/27) ・クロス集計等(1/5) ・指標問題分析(1/6) 課題発見・原因究明	校内研修会 ・取組の確認	授業の具体的取組 ・基盤の具体的取組 ・岩坂教諭研究授業(1日) チャレンジテスト 児童生徒アンケート 教員アンケート
12	評価問題実施	年間のゴールの姿 目指す姿 到達目標 付けたい力		校内研修会 ・Ⅱ期の振り返り 研究推進委員会 ・年間のゴールの姿、取組の見直し	チャレンジテスト 児童生徒アンケート 教員アンケート
1				校内研修会 ・Ⅲ期プランの提案、共通理解	授業の具体的取組 ・基盤の具体的取組 ・八木教諭研究授業(10日) チャレンジテスト 児童生徒アンケート 教員アンケート
2	学力向上推進研修			校内研修会 ・取組の確認	授業の具体的取組 ・基盤の具体的取組 ・大澤教諭研究授業(7日) チャレンジテスト 児童生徒アンケート 教員アンケート
3		次年度 年間のゴールの姿	成果と課題の分析 成果の原因の特定 課題の原因の特定 次年度数値目標	校内研修会 ・Ⅲ期取組、今年度の取組の振り返り 研究推進委員会 ・次年度の方向性について	学校研究総括 成果と課題の共有 チャレンジテスト 児童生徒アンケート 教員アンケート

※行事等には、県基礎学力調査、全国学力・学習状況調査、市町や学校で行われる学力調査等を位置付け、現状把握や成果・課題の分析に活用する。

※「奥能登ハンドブックー学力向上に向けた取組のポイントー」P1. ○学力向上ロードマップとプランの活用に向けて ①参照。